

ご 注 意

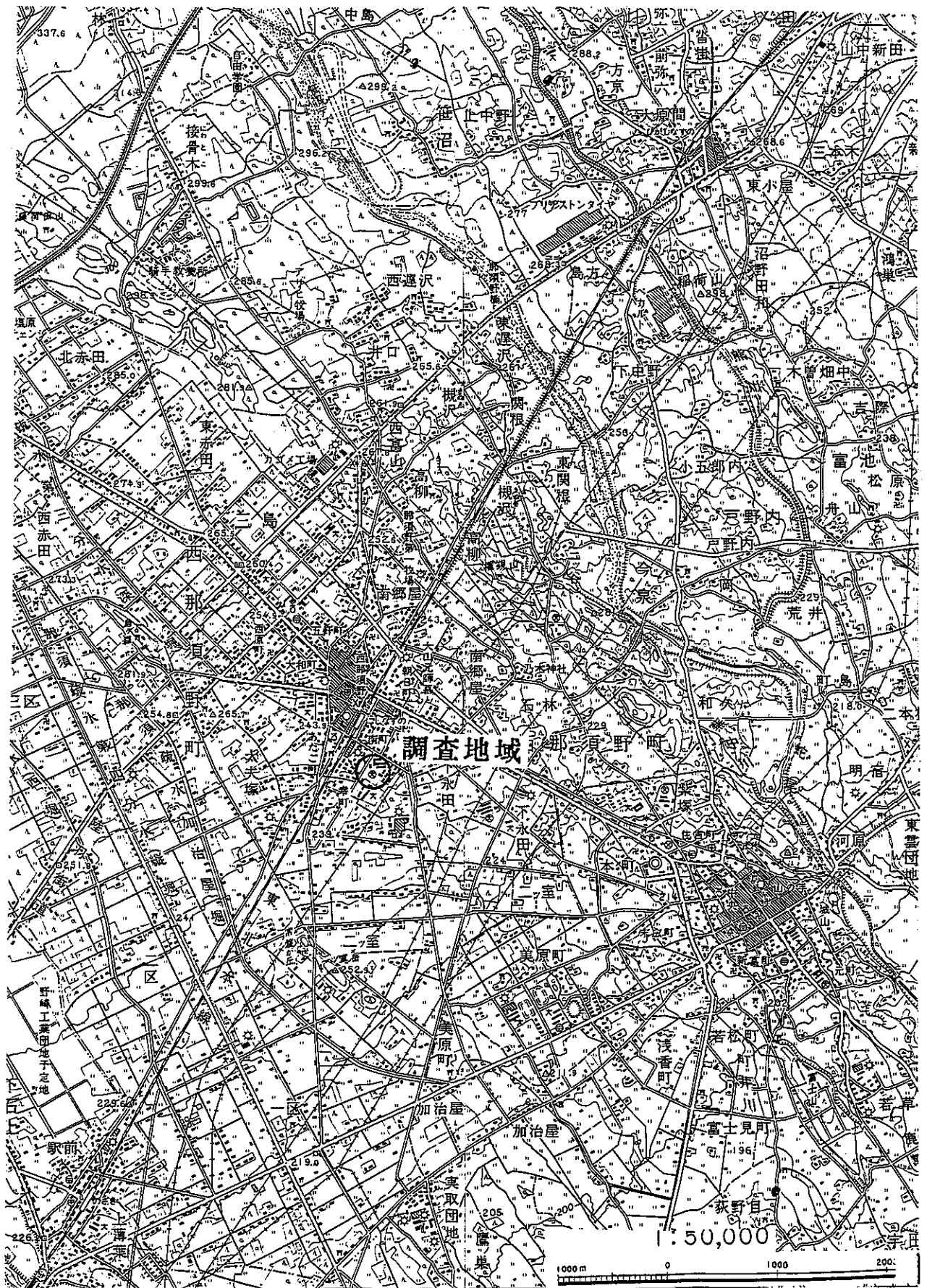
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図



土 質 柱 状 図 報 告 用 紙

調査名 那須農業高校実習棟新築工事地質調査委託

調査地点 西那須野町4-202

調査年月日 60年 11月 日

標高 m 年 月 日

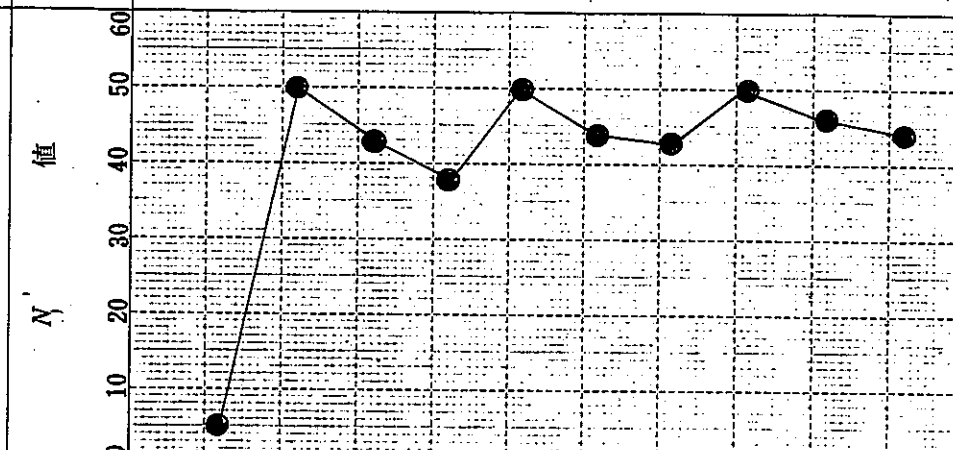
ボーリング孔: No. 1

機種

孔内水位(自然泥) なし

調査責任者

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験			採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量 (N/cm)		10cmごとの打撃回数 (10cm, 20cm, 30cm)	値			
0		0.20	0.20	盛土	黒褐色		腐る。	1.15 1.45	5 30	1 2 2	10 20 30	1	1.15 1.45	1	標準貫入試験 注1) 注2) 法
1		1.50	1.30	砂質ローム	黄褐色			2.15 2.40	50 25	16 15 5	15 15	2	2.15 2.40	2	
2					青灰色		礫φ10~40mm主体, 大礫φ80mm~150mm内外点在。	3.15 3.45	43 30	14 15 14	14	3	3.15 3.45	3	
3							3m~4m間粗砂混入多い, 若干粘土質, 凝灰質呈す。	4.15 4.45	38 30	11 13 14	14	4	4.15 4.45	4	
4							4m~5m間, 玉石点在 礫φ30mm内多く粗砂混る, 透水あり。	5.15 5.35	50 20	24 26		5	5.15 5.35	5	
5				砂	茶褐色			6.15 6.35	44 30	9 20 15		6	6.15 6.35	6	
6							6m~8m間粗砂混入多い, 主体礫φ5mm~30mm, 大礫50mm内外。	7.15 7.45	43 30	12 13 18		7	7.15 7.45	7	
7								8.15 8.26	50 11	40 10		8	8.15 8.26	8	
8							9.80~透水	9.15 9.45	46 30	12 14 20		9	9.15 9.45	9	
9							主体礫5mm~80mm, 全体に粗砂混入多い, 大礫50mm位若干粘土混る所あり。	10.15 10.45	44 30	10 19 15		10	10.15 10.45	10	



備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンプレー

P: 標準貫入試験用サンプレー

注2) 原位置試験方法の記号

F: フォトリソグラフィ

O: ...

土 質 柱 状 図 報 告 用 紙

調査名 那須農業高校実習棟新築工事地質調査委託

調査地点 西那須野町4-202

調査年月日 60年11月 日

標高 m 年 月 日

ボーリング孔: No. 2

孔内水位(自然, 泥) なし

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験			採取試料・原位置試験	方法												
				土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量 m/cm	10cmごとの打撃回数			N 値											
0																							
1		1.00	1.00	盛土	褐色	コンクリート塊混る。	2	15	1	1	15	1	1.15	1	1.15								
2		2.00	1.00	砂質ローム	黄褐色	1.6m附近小礫混る。	30	9	12	12	9	12	1.45	2	1.45								
3					青灰色	φ5mm内の小礫主体, 大礫φ5mm~40mm位含む, 粗砂混入多い。	30	7	9	7	7	9	2.15	3	2.15								
4					暗褐色	3.5m附近より若干礫灰質を呈す。	23	30	13	20	13	20	2.45	4	2.45								
5				砂		礫φ5mm~40mm主体, φ150mm点在, 4m~5mφ10~80mm主体。	50	14	29	21	29	21	3.15	5	3.15								
6						5~6m間礫φ40~80mm多い, 6.3m透水	30	40	4	10	4	10	3.45	6	3.45								
7						礫φ5~40mm主体, 所々透水あり。	50	12	14	14	14	18	4.15	7	4.15								
8							46	30	12	24	14	14	4.45	8	4.45								
9						9m附近より礫φ5~20mm主体	50	50	12	21	17	17	5.15	9	5.15								
10							30	24	26	26	26	26	5.29	10	5.29								
10.35		10.35					20	24	26	26	26	26	6.15		6.15								
													6.27		6.27								
													7.15		7.15								
													7.45		7.45								
													8.15		8.15								
													8.45		8.45								
													9.15		9.15								
													9.45		9.45								
													10.15		10.15								
													10.35		10.35								

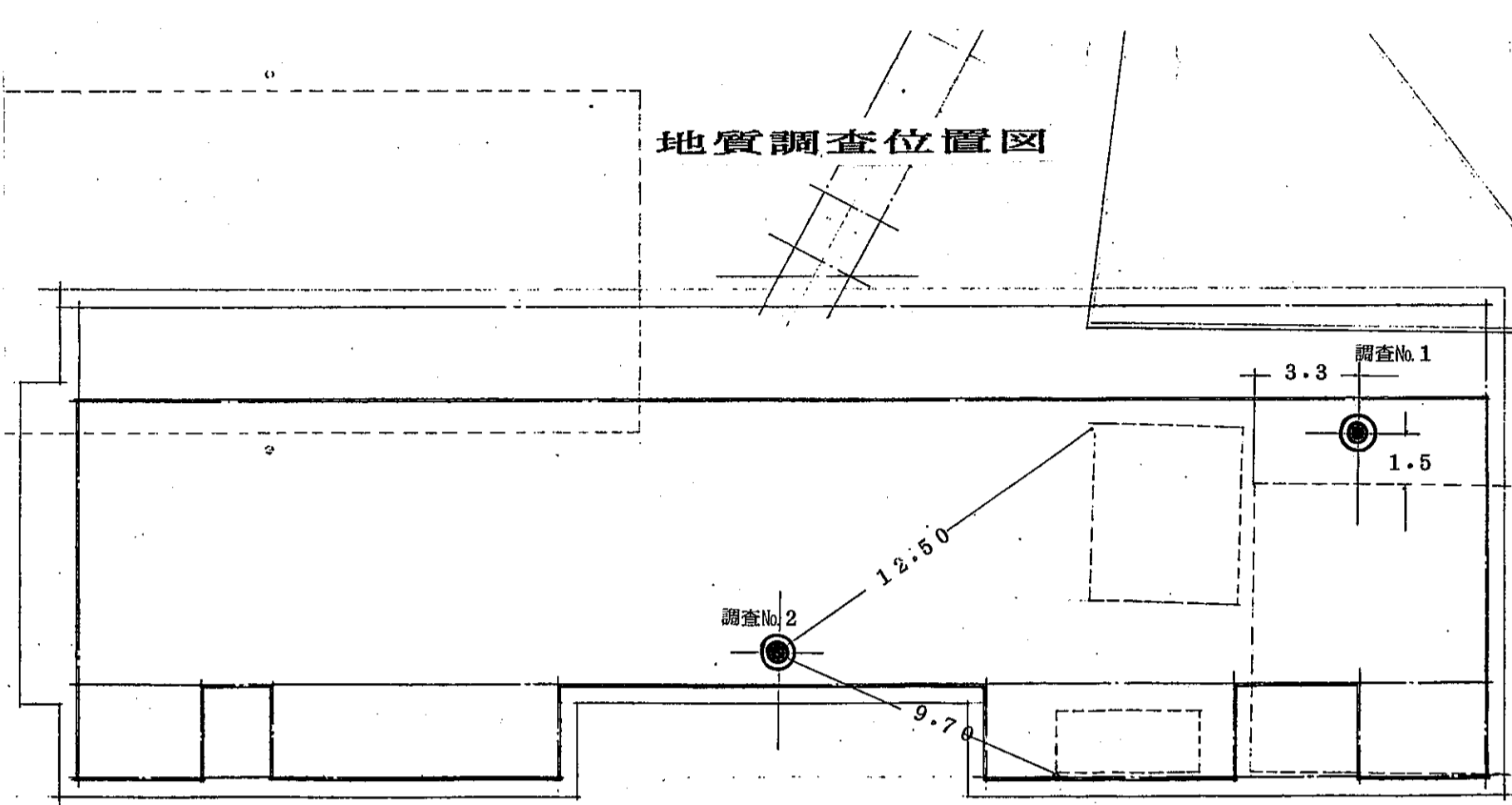
注2) 原位置試験方法の記号

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクウォールサンブラー F: フォトリソグラフサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オイル
 D: デュピュイ、利社、レーネ

備考

地質調査位置図



地質推定断面図

